

第1回 京大本番レベル模試

採点基準 英語

全体の基準

- *原則として次の基準に従うものとする。各問ごとの追加基準がある場合はそちらが優先される。
- ・原則として減点方式により採点する。
- ・各小問は、全体をいくつかの部分に分けて点数を分配する。
- ・部分ごとに、解答が明らかに未完である場合、その部分については点数を与えない。
- ・同一の誤りが複数回ある場合、減点は原則初出の1回のみとする。
- ・誤字・脱字・スペルミスは、1語につき**マイナス1点**

内容説明・英文和訳（大問Ⅰ・Ⅱ）の基準

- *以下の項目に関して、1点から3点の幅で減点する。
- ・単語の誤訳や文脈上不自然な訳は、1つにつき**マイナス1点**を原則とする。但し、意味・構文上大きな誤りは**マイナス2点**とする。訳漏れの場合は単語の種類によって次を原則とする。即ち、**修飾語**は欠如しても意味・構文に影響が少ない場合、**マイナス1点**。**内容語**と**機能語**は欠如すると意味・構文に影響するので、原則**マイナス2点**とする。

単語の種類	誤訳	欠如
修飾語（限定形容詞・副詞・冠詞・助動詞）	-1	-1
内容語（名詞・代名詞・動詞・叙述形容詞）	-1	-2
機能語（従属接続詞・前置詞）	-1	-2

- ・イディオム・文法・語法・構文の知識不足による誤訳は、単語の誤訳に倣う。文脈の把握ミスによる致命的な誤訳は、1つにつき**マイナス3点**を原則とする。但し、与えられた配点を超えた減点はしない。

英作文問題（大問Ⅲ・Ⅳ）の基準

- *部分ごとに基準がない場合、以下の項目に関して、1点から3点の幅で減点する。
- ・単語の誤訳・訳漏れは、上記和訳問題に同じ。
- ・イディオム・文法・語法・構文の知識不足による誤訳及び適切性を欠く訳は上記和訳問題に準ずる。また、**SVO**の語順、従属接続詞や前置詞の後置など致命的な構文上の誤りは、1つにつき、**マイナス3点**を原則とする。

配点表

大問	配点	小問等	配点
I	50	(1)	10
		(2)	25
		(3)	15
II	50	(1)	30
		(2)	20
III	25	—	25
IV	25	—	25
大問計	150	小問計	150

大問 I (1) 配点10

【基準・配点】

次の部分・要素に以下の点を配す。以下に言及のない誤訳・ミスは1つマイナス1~2点を原則とする。

部分	配点	-1点	-2点
①東洋では	2	・「東洋」=中国/アジア/東方/東	・「東洋」=欠如
②数千年前から菌類が重宝された	2	・「数千年」=欠如 ・「菌類」=キノコ/マッシュルーム ・「重宝」=無視[軽視]されなかった	・「菌類」=(細)菌/欠如 ・「重宝」=欠如
③椎茸の栽培法を考え出した人をまつる聖堂がある	4	・「椎茸」=キノコ/マッシュルーム ・「栽培法」=誤訳 ・「考え出した」=誤訳 ・「人をまつる」=誤訳 ・「聖堂」=場所	・「椎茸」=欠如 ・「栽培法」=欠如 ・「考え出した」=欠如 ・「人をまつる聖堂」=欠如
④西洋では菌類学が無視されてきた	2	・「西洋」=誤訳 ・「菌類学」=菌類/欠如 ・「無視」=誤訳	・「西洋」=欠如 ・「無視」=欠如

大問 I (2) 配点25

【基準・配点】

次の部分・要素に以下の点を配す。以下に言及のない誤訳・ミスは1つマイナス1～2点を原則とする。

①第1文 (10点)

部分	配点	-1点	-2点
The first is straightforward:	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ The first=誤訳 ・ is=時制ミス ・ straightforward=誤訳 	<ul style="list-style-type: none"> ・ The first=欠如 ・ is=欠如 ・ straightforward=欠如
only recently have technologies been available that allow scientists fully <u>to investigate</u> the fungal world;	8	<ul style="list-style-type: none"> ・ only=誤訳/～だけ[のみ]/欠如 ・ recently=誤訳 ・ have been=誤訳/時制ミス ・ technologies=技術/工業技術/誤訳 ・ available=誤訳 ・ allow O to V=誤訳/時制ミス ・ scientists=誤訳 ・ fully=誤訳/欠如 ・ investigate=誤訳 ・ the fungal world=菌/細菌/誤訳 	<ul style="list-style-type: none"> * 倒置把握ミスによる誤訳は-3 ・ recently=欠如 ・ have been=欠如 ・ technologies=欠如 ・ available=欠如 ・ that=その/あの/それ/あれ * 先行詞把握ミスは-3 ・ allow O to V=欠如 * 文型把握ミスは-3 ・ scientists=欠如 ・ investigate=欠如 ・ the fungal world=欠如
<u>to open</u> up the hidden realms that lie beneath us, invisible to the eye.		<ul style="list-style-type: none"> ・ open up=誤訳 ・ the hidden=誤訳/欠如 ・ realms=誤訳 ・ lie=誤訳/時制ミス ・ beneath us=誤訳/欠如 ・ invisible to the eye=誤訳 	<ul style="list-style-type: none"> * <u>to V1</u>との並列関係把握ミスは-3 ・ open up=欠如 ・ realms=欠如 ・ that=その/あの/それ/あれ * 先行詞把握ミスは-3 ・ lie=欠如 ・ invisible to the eye=欠如

②第2文～第6文 (15点)

部分 [補足解説]	配点	-1点	-2点
The second is historical.	3	<ul style="list-style-type: none"> • The second=誤訳 • is=時制ミス • historical=誤訳 	<ul style="list-style-type: none"> • The second=欠如 • is=欠如 • historical=欠如
“There is an entrenched disciplinary bias,” he says.		<ul style="list-style-type: none"> • There is=誤訳/時制ミス • entrenched=誤訳/欠如 • disciplinary=誤訳/欠如 • bias=誤訳/バイアス • he says=誤訳/時制ミス 	<ul style="list-style-type: none"> • There is=欠如 • bias=欠如 • he says=欠如
“Fungi weren’t seen as their own kingdom of life until the 1960s.	3	<ul style="list-style-type: none"> • Fungi=菌/細菌/誤訳 • weren’t seen as=誤訳/時制ミス • their own=誤訳/欠如 • kingdom of life=誤訳 • until the 1960s=誤訳 	<ul style="list-style-type: none"> • Fungi=欠如 • weren’t seen as=欠如 • kingdom of life=欠如 • until the 1960s=欠如 * 1960年代以前に見なされていたと読めるものは-3
Mycologists were put in a corner of the plant sciences department, rather than in their own fungal sciences department.	6	<ul style="list-style-type: none"> • Mycologists=誤訳 • were put in a corner of=誤訳 • the plant=誤訳 • sciences=誤訳 • department=誤訳/欠如 • rather than=誤訳 • in=誤訳 • their own=誤訳 (*但し前の区分と異なるミス) / 欠如 • fungal=細菌の/菌の/誤訳 	<ul style="list-style-type: none"> • Mycologists=欠如 • were put in a corner of=欠如 * 1960年代以降に追いやられたと読めるものは-3 • the plant=欠如 • sciences=欠如 • rather than=欠如 • fungal=欠如
This had a huge impact – if you’re not training researchers, it will be neglected.”	3	<ul style="list-style-type: none"> • This=誤訳 • had=誤訳/時制ミス • a huge=誤訳/欠如 • impact=誤訳 • if=誤訳 • you’re not training=誤訳/時制ミス • researchers=誤訳 • it=誤訳 • will be neglected=誤訳/時制ミス 	<ul style="list-style-type: none"> • This=欠如 • had=欠如 • impact=欠如 • you’re not training=欠如 • researchers=欠如 • it=欠如 • will be neglected=欠如

大問 I (3) 配点 15

【基準・配点】

次の部分・要素に以下の点を配す。以下に言及のない誤訳・ミスは1つマイナス1～2点を原則とする。

部分	配点	-1点	-2点
①胞子を爆発的に放出する際、打ち上げ後のスペースシャトルの10000倍速く加速させる。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・「胞子」=種(子)／菌 ・「放出」=誤訳 ・「打ち上げ後」=欠如 ・「スペースシャトル」=誤訳 ・「10000倍」=欠如 ・「加速」=速度 	<ul style="list-style-type: none"> ・「胞子」=細菌／スポア／欠如 ・「放出」=欠如 ・「スペースシャトル」=欠如 ・「加速」=欠如
②アスファルトを突き破り、敷石を持ち上げる。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・「アスファルト」=誤訳 ・「突き破る」=～の間を進む ・「敷石」=道の石 ・「持ち上げる」=誤訳 	<ul style="list-style-type: none"> ・「アスファルト」=欠如 ・「突き破る」=欠如 ・「敷石」=欠如 ・「持ち上げる」=欠如
③1本の菌糸が人の手と同じ幅があれば、8トンのバスを持ち上げると推定される。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・「手」=手首／腕 ・「幅」=長さ ・「8トンバス」=誤訳 ・「持ち上げる」=誤訳 ・「推定される」=欠如 	<ul style="list-style-type: none"> ・「手」=欠如 ・「同じ」=欠如 ・「幅」=欠如 ・「8トンバス」=欠如 ・「持ち上げる」=欠如

大問Ⅱ (1) 配点30

【基準・配点】

次の部分・要素に以下の点を配す。以下に言及のない誤訳・ミスは1つマイナス1～2点を原則とする。

部分	配点	-1点	-2点
①アタカマ砂漠における西暦1000年以降の作物収穫量の急増	10点	<ul style="list-style-type: none"> ・「アタカマ砂漠」= (ペルーの) 砂漠 ・「西暦1000年以降」= A.D.1000[1000 A.D.] 以降/1000年以降 ・「作物」= 農産物/食物 ・「収穫量」= 種類 ・「急増」= 誤訳 	<ul style="list-style-type: none"> ・「アタカマ砂漠」= 欠如 ・「西暦1000年以降」= 欠如 ・「作物」= 欠如 ・「収穫量」= 消費量/欠如 ・「急増」= 欠如
②一層トウモロコシ中心の食生活に移った住民の遺骨に残る窒素同位体値の急上昇	10点	<ul style="list-style-type: none"> ・「一層」= 欠如 ・「トウモロコシ中心の食」= 穀物[作物/農産物]中心の食 ・「骨に残る」= 誤訳 ・「窒素」= 元素 N ・「同位体」= 変異体 ・「急上昇」= 誤訳 	<ul style="list-style-type: none"> ・「トウモロコシ中心の食」= 欠如 ・「骨に残る」= 欠如 ・「窒素」= 欠如 ・「同位体」= 欠如 ・「急上昇」= 欠如
③太平洋沿岸に豊富で窒素を多く含む海鳥のフンを肥料にした結果と思われる	10点	<ul style="list-style-type: none"> ・「太平洋岸」= 太平洋/海岸 ・「豊富」= ある/の/欠如 ・「窒素を多く含む」= 誤訳 ・「海鳥」= 鳥/ペリカンなど ・「フン」= フンの化石/ゲアノ ・「肥料」= 堆肥 ・「と思われる」= 欠如 	<ul style="list-style-type: none"> ・「太平洋岸」= 欠如 ・「窒素を多く含む」= 欠如 ・「海鳥」= 欠如 ・「フン」= 欠如 ・「肥料」= 欠如

大問Ⅱ (2) 配点20

【基準・配点】

次の部分・要素に以下の点を配す。以下に言及のない誤訳・ミスは1つマイナス1～2点を原則とする。

部分	配点	-1点	-2点
①「白い黄金」と呼ばれる[た]	2	・「白い黄金」=白金[シロガネ]/銀	・「白い黄金」=欠如
②海鳥のフンは優れた肥料として貴重	8	・「海鳥」=鳥/ペリカンなど ・「フン」=フンの化石/グアノ ・「優れた」=誤訳 ・「肥料」=誤訳	・「海鳥」=欠如 ・「フン」=欠如 ・「優れた」=高価[まれ]な/欠如 ・「肥料」=欠如
③海鳥の生息域が15世紀のインカ帝国の領界とほぼ一致する	8	・「海鳥」=鳥/ペリカンなど ・「生息域」=範囲 ・「15世紀」=15C/欠如 ・「インカ帝国」=インカ族[人] ・「領界」=領土/国土/版図 ・「一致する」=釣り合う	・「海鳥」=欠如 ・「生息域」=レンジ/欠如 ・「インカ帝国」=欠如 ・「領界」=欠如 ・「一致する」=欠如
④海鳥とそのフンが帝国の存続を支えていた	2		・欠如

大問Ⅲ 配点 25

【基準・配点】

次の部分・要素に以下の点を配す。以下に言及のない誤訳・ミスは1つマイナス1~2点を原則とする。

部分① (3点)

部分	配点	-1	-2
物語には意外な効用があるようだ。 <ul style="list-style-type: none"> • Stories seem to have surprising powers. • Stories can do more than you think. 	3点	「物語」=誤訳/無冠詞単数 「~ようだ」=誤訳/ 時制ミス/欠如 「~がある」=誤訳/ 時制ミス 「意外な」=誤訳/欠如 「効用」=誤訳	「物語」=欠如 「~がある」=欠如 「効用」=欠如

部分② (5点)

部分	配点	-1	-2
第二次世界大戦中、ポケットに忍ばせた一冊の本が兵士に生きる希望を与えたという。 <ul style="list-style-type: none"> • During the second world war, just having a book in their pocket helped soldiers retain their will to live. • During World War II, soldiers who carried a book in their pockets did not give in to the temptation to lose hope for life. 	5点	「第二次世界大戦中」=誤訳 「一冊の本」=誤訳/無冠詞単数 「ポケットに忍ばせた」=誤訳/無冠詞単数 「与えた」=誤訳/時制ミス 「兵士」=誤訳/無冠詞単数 「生きる」=誤訳/欠如 「希望」=誤訳 「~という」=誤訳	「第二次世界大戦中」=欠如 「一冊の本」=欠如 「ポケットに忍ばせた」=欠如 「与えた」=欠如 「兵士」=欠如 「希望」=欠如

部分③ (6点)

部分	配点	-1	-2
Aで、Bできたということなだろう <ul style="list-style-type: none"> • A probably made it possible to B • Probably it was due to the fact that A enables you to B 	6点	「Aで、Bできたということなだろう」=誤訳/時制ミス 「~だろう」=誤訳/欠如	「Aで、Bできたということなのだ」=欠如
A=登場人物を通して他者の人生を生きること <ul style="list-style-type: none"> • Experiencing a character's life from his or her perspective • putting yourself in characters' shoes and seeing things from their point of view 		「登場人物」=誤訳/無冠詞単数 「(他者の人生を)生きる」=誤訳/ imitate [mimic]/simulate 「他者の」=誤訳 「人生」=誤訳 「~を通して」=誤訳	「登場人物」=欠如 「生きる」=欠如 「他者の」=欠如 「人生」=欠如 「~を通して」=欠如
B=自分を客観視する <ul style="list-style-type: none"> • for the soldiers to see themselves objectively • you to put yourself in an objective frame of mind 		「自分」=誤訳 「客観」=誤訳/欠如 「~視する」=誤訳	「自分」=欠如 「~視する」=欠如

部分④ (6点)

部分	配点	-1	-2
～というわけだ ・ In other words ・ this means that SV	6点	「～というわけだ」=誤訳/欠如	
逆説的だが, ・paradoxical as it may sound, ・contrary to common sense,		「逆説的だが」=誤訳/on the contrary/on the other hand	「逆説的だが」=欠如
いったん外から自分を眺めることが、我に返る早道 ・the shortcut to coming back to your senses is to look at yourself once from the outside. ・the first thing to do is to see yourself from the outside because this is the fastest way to restore yourself.		「Aが、Bの早道」=誤訳/無冠詞単数/時制ミス 「いったん」=誤訳/欠如 「自分を眺める」=誤訳 「外から」=誤訳/ 「我に返る」=誤訳	「Aが、Bの早道」=欠如 「自分を眺める」=欠如 「外から」=欠如 「我に返る」=欠如

部分⑤ (5点)

部分	配点	-1	-2
人生は山あり谷ありだが, ・ Life has ups and downs. ・ Life is not always easy, but	5点	「人生」=誤訳 「山あり谷ありだ」=誤訳/時制ミス	「人生」=欠如 「山あり谷ありだ」=欠如
皆さんは、主人公としてどのような人生を紡ぎたいと思っているだろうか。 ・ As the main character of your own life, what kind of life do you want to build for yourself? ・ you are the heroine. How would you like to live your life?		「皆さん」=誤訳/everyone[-body] 「主人公として」=誤訳/無冠詞単数 「どのような」=誤訳 「紡ぐ」=誤訳 「人生」=誤訳 「～したいと思う」=誤訳/時制ミス	「皆さん」=欠如 「主人公として」=欠如 「どのような」=欠如 「紡ぐ」=欠如 「人生」=欠如 「～したいと思う」=欠如

大問Ⅳ 配点 25

【解答例】

解答 (i)

Omotenashi is best translated as hospitality. Other possible translations are feast, reception, or service. So basically, it comes down to how you treat your guests. It is often said that Westerners tend to do for you what they want you to do for them whereas Easterners prefer not to do to you what they want you not to do to them. In light of this, though the term *omotenashi* originated in Japan, I think the spirit of *omotenashi* is closer to the Westerners' concept of hospitality. After all, if you know the best way to enjoy your leisure time in Japan, why isn't it a good idea to do for your visitors what is the best for you? That is how I see it.

解答 (ii)

In old Japan, rare visitors from overseas were always welcomed and treated with respect and hospitality. This was because they were believed to bring benefits and happiness. I think it is here that the root of *omotenashi* lies. Our ancestors must have wondered, "How can we entertain them?" The problem is that satisfaction depends on the perception of the takers rather than the givers, because the rare visitors were all from far more advanced cultures. Perhaps that is why we have developed a sixth sense for sniffing out the needs and preferences of people we first meet. To sum it up, in Japan when practicing hospitality the emphasis is on thoughtfulness for others.

【基準・減点】

以下に言及のない点ミスは全体的基準に従う。

(1) 形式面

- ・ 解答欄をはみ出した部分（途中からはみ出した文も含む）は、採点対象にしない。

(2) 内容面

- ・ 説明として不自然、あるいは理解し難い部分は、1箇所マイナス5点。

(3) 文法面

- ・ 文法・語法のミスは各マイナス1点。